

# 海洋観光に関するシンポジウム 2015

～地域活性化と海域の適切な管理に向けて～

日時:平成27年2月13日(金) 14:30～17:30

場所:東京国際交流館 プラザ平成3階 国際交流会議場

主催:国土交通省

## — 式 次 第 —

### 1. 主催者あいさつ (14:30～)

---

**大沼 俊之**(国土交通省総合政策局海洋政策課長)

### 2. 基調講演 (14:35～)

---

**樋口 博**(小笠原村総務課企画政策室長)

**「小笠原諸島における海洋観光の可能性」**

### 3. 基調報告 (15:10～)

---

**国土交通省**(総合政策局、港湾局、海事局)

**「海洋観光年の振興に関する検討会」**

**のとりまとめを踏まえた国土交通省の取組について**

休憩(15:45～16:00)

### 4. パネルディスカッション (16:00～)

---

■コーディネーター

**矢ヶ崎 紀子**

(東洋大学国際地域学部国際観光学科准教授、「海洋観光の振興に関する検討会」座長)

■パネリスト

**高砂 樹史** ((株)おぢか観光まちづくり公社代表取締役)

**高橋 由香** (カナダ プリンス・エドワード島州政府観光局日本代表)

**千足 耕一** (東京海洋大学海洋科学系准教授)

**樋口 博** (小笠原村総務課企画政策室長)

## 登壇者紹介

### <基調講演・パネリスト>

#### 樋口 博 (小笠原村総務課企画政策室長)



1961年岐阜県生まれ。1987年小笠原村役場に入庁。健康福祉課長、企画課長、医療課長を経て、現在、企画政策室長の任に就く。民生部門では、デイサービスセンター、有料老人ホーム、社会福祉法人の設立など、島の介護・医療サービス体制の構築に従事。現在、企画部門にて、小笠原法による振興開発、村・総合計画、住宅施策、交通アクセス(海路、航空路)の他、海洋政策を担当する。

### <コーディネーター>

#### 矢ヶ崎 紀子 (東洋大学国際地域学部国際観光学科 准教授、「海洋観光の振興に関する検討会」座長)



1987年住友銀行入行(～1989年)。1989年株式会社日本総合研究所入社(～2014年)。2008年に観光庁設立と同時に参事官(観光経済担当)に就任(～2011年)。観光統計の創設・整備、観光白書、観光需要の平準化を図るための休暇改革、国内旅行振興等に従事。2011年より首都大学東京都市環境学部特任准教授。2014年より現職、日本貨物鉄道株式会社取締役。国土交通省交通政策審議会委員。専門分野は観光政策論及び観光産業論。

### <パネリスト(五十音順)>

#### 高砂 樹史 ((株)おぢか観光まちづくり公社代表取締役、NPO 法人)



平成17年に小値賀町へ移住し、平成19年より3組織(民泊団体、自然学校、観光協会)が合併した「NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会」の設立に参加。平成22年度より着地型旅行会社である(株)小値賀観光まちづくり公社を立ち上げ、東洋文化研究家のアレックス・カー氏と連携し、古民家などを再生したレストランや宿泊施設を活用する「新しい島旅」事業を平成22年9月にスタート。平成24年度、島ぐるみの観光まちづくりの取り組みが「地域づくり総務大臣賞大賞」を受賞。

#### 高橋 由香 (カナダ プリンス・エドワード島州政府観光局日本代表)



東京都立短期大学卒業。英語を学ぶためにカナダへ渡航。プリンス・エドワード島で、ガイド、観光会社マネージャー、州政府観光局日本担当として、日本人旅行客受け入れの整備・開発や観光プロモーションに10年間携わる。その後、トロントへ。日本通運トロント旅行事務所マネージャーを経て、2002年、プリンス・エドワード島州を含むアトランティック・カナダ4州観光局セールスマネージャーに就任。カナダ大西洋沿岸地域の包括的なマーケティングプロモーションに携わる。2009年、20年のカナダ滞在から帰国し現職に就任。

#### 千足 耕一 (東京海洋大学大学院海洋科学系 准教授)



1989年に筑波大学体育専門学群卒業、同大学修士課程体育研究科を経て、1993年より筑波大学体育センター勤務、1997年十文字学園女子短期大学、2001年より鹿屋体育大学海洋スポーツセンター勤務、准教授・センター長を歴任、2008年より現職に就く。2003年東邦大学医学研究科にて博士号取得。専門は海洋スポーツおよび野外教育論で、日本野外教育学会理事、日本海洋人間学会理事、海に学ぶ体験活動協議会理事等を務める。国立青少年教育振興機構の委員会委員や講師を務めるほか、水辺の体験活動に関する講演多数。